



SDGs レポート 2020

できるところから、はじめよう

環境ステートメント

地球温暖化による気候変動は、人間の生活や自然の生態系に様々な影響を与えており、例えば、気温の上昇、海面水位の上昇、農作物への影響などが観測され始めています。その原因は、二酸化炭素（Co2）濃度の上昇が起因しており、二酸化炭素の削減を目指す低炭素の社会を実現していく必要があります。

株式会社大倉は、「社員ひとりひとりと環境に配慮する責任や想いを共感できる活動」、「必死に頑張るのではなく、無理のない柔軟な環境負荷削減を行う活動」を目指して行きます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エコドライブ活動



- ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ、ゆとりの車間距離、決して急がず、乱暴な運転をしない。ひとつひとつの積み重ねが、環境負荷の削減と交通事故の減少につながります。

I. 営業車

項 目			上 期	下 期	年 計
2020年	給油量	ℓ	13,591.0	11,921.0	25,512.0
	走行距離	Km	244,269.0	223,556.0	467,825.0
	燃 費	Km/ℓ	18.0	18.8	18.34
2019年	給油量	ℓ	11,467.0	11,180.0	22,647.0
	走行距離	Km	208,350.0	208,529.0	416,879.0
	燃 費	Km/ℓ	18.2	18.7	18.41
【 評 価 】			低下	良好	若干の低下

II. ダンプトラック

項 目			上 期	下 期	年 計
2020年	給油量	ℓ	66,372.0	65,980.0	132,352.0
	走行距離	Km	160,545.0	163,921.0	324,466.0
	燃 費	Km/ℓ	2.4	2.5	2.45
2019年	給油量	ℓ	55,464.0	64,805.0	120,269.0
	走行距離	Km	123,056.0	153,410.0	276,466.0
	燃 費	Km/ℓ	2.2	2.4	2.30
【 評 価 】					

- 営業車においては、28台中、20台がハイブリッド車両へ切替えている。燃費の更なる向上については、難しい状況ではあるが、エコドライブ10のすすめを再配布し、運転手への啓蒙活動を行う。ダンプトラック、連絡車などは、燃費効率の悪い車両ではあるが、極力、燃費向上に努める。

アイドリング ストップ活動



- 仕事にメリハリをつけて、エンジンをかけたままにしないで、止めるときは止める。 unnecessary idling should be stopped, leading to fuel savings and reduction of environmental burden.

1. 重機

項 目			金沢 (40%)	瑞穂 (40%)	大井 (50%)	センター (50%)
2020年	総時間	ℓ	4,641.0	5,752.0	2,238.0	1,694.0
	アイドリング	h	1,603.0	2,618.0	1,140.0	668.0
	アイドリングストップ	%	35%	46%	51%	39%
2019年	総時間	ℓ	6,505.0	5,800.0	2,257.0	1,920.0
	アイドリング	h	2,764.0	2,137.0	1,163.0	732.0
	アイドリングストップ	%	42%	37%	52%	38%
【 評 価 】			削減 ○	増加 ×	増加 △	削減 ○

項 目			奈良輪 (40%)	田倉 (40%)		
2020年	総時間	ℓ	5,927.0	5,987.0		
	アイドリング	h	2,198.0	1,901.0		
	アイドリングストップ	%	37%	32%		
2019年	総時間	ℓ	4,862.0	5,973.0		
	アイドリング	h	1,279.0	1,796.0		
	アイドリングストップ	%	26%	30%		
【 評 価 】			削減 ○	削減 ○		

- 今期の評価としては、瑞穂事業所が目標に達成しておらず、アイドリング率の増加が見られた。前期実績は良好であったため、この実績を踏まえて来季は更に意識して作業することが重要となる。
大井事業所は若干目標には達成していないが、重機1機で作業していることを考えると、50%前後が妥当な結果と思われる。
その他事業所は目標達成しており良好な結果であった。

節約活動



- 日常使っている「電気」「水道」「ガス」などを決して無理をするのではなく、適正な使用のもとで使えば、環境負荷の削減につながります。

I. 電気

項 目		上 期	下 期	年 計	
2020年	使用量	Kwh	86,880	78,921	165,801
	金 額	円	2,204,238	2,010,988	4,215,226
2019年	使用量	Kwh	87,144	80,673	167,817
	金 額	円	2,449,422	2,193,298	4,642,720
【 評 価 】		削減	削減	削減	

II. 水道

項 目		上 期	下 期	年 計	
2020年	使用量	m3	476	656	1,132
	金 額	円	115,093	103,441	218,534
2019年	使用量	m3	401	413	814
	金 額	円	80,670	83,987	164,657
【 評 価 】		増加	増加	増加	

III. ガス

項 目		上 期	下 期	年 計	
2020年	使用量	nm3	171	675	846
	金 額	円	35,727	91,968	127,695
2019年	使用量	nm3	138	739	877
	金 額	円	31,466	105,019	136,485
【 評 価 】		増加	削減	削減	

- 電気、ガスは削減となったが水道が増加となった。

啓蒙活動



- ひとりひとりが環境活動の大切さを意識する為の広報活動を行えば、小さな変化でも環境負荷の削減につながります。

No.	項目	実施内容	活動実績
1	クールビズ	適正温度を推奨	
2	ウォームビズ	適正温度の推奨	
3	電気の消灯	昼休み、必要のない場所での消灯	
4	ゴミの分別	適正な分別と処分	
5	コピー用紙再利用	裏紙利用	



その他活動



■ 企業活動で環境等に配慮した活動内容を把握しよう。

● 建設発生土の把握

- ・ 千葉支店… t
- ・ 田倉事業所… t
- ・ 合計… t

● 産業廃棄物の把握

(自社排出廃棄物)

- ・ 金沢… t
- ・ 瑞穂… t
- ・ 大井… t
- ・ 千葉支店… t
- ・ 合計… t

(収集運搬)

- ・ 本社…40 t +462.85
- ・ 東京支店…4,260 t
- ・ 千葉支店…0 t
- ・ 土木…819 t
- ・ 合計… t

● 環境法令遵守の把握

廃棄物適正	廃掃法	消防危険物管理	消防法
処理	東京都条例	大気汚染防止	自動車NOx・PM法
	神奈川県条例		オフロード法
	千葉県条例	水質汚染防止	浄化槽法
循環資源	家電リサイクル法	土壌関連	土壌汚染対策法
	自動車リサイクル法		千葉県残土条例
	建設リサイクル法		富津市残土条例
温暖化防止	フロン排出抑制法		神奈川県残土条例
騒音振動抑制	騒音規制法		
	振動規制法		

上記、当社該当法令はすべて遵守出来ている。

● 社外活動

総括と今後について

●当社は、十年以上に渡り環境省が定めた環境経営システムによる環境活動を続けておりましたが、この度、これまでの取組を基礎とした新たな環境活動をスタートすることと致しました。新たな環境活動の基本は、できるところからはじめることであり、社員ひとりひとりの自主的な動きから取組が進んでいく仕組み作りをして行きたいと考えています。

●新たな環境活動は、活動内容をシンプルにすることで、P D C Aサイクルを明確にし、S D G sの取組と協調することで、社会への貢献を認識することができます。これまで歩んできた環境活動とは違った、ひとりひとりの気づきが大切になってきます。まず、企業活動（環境負荷）を行う上で、活動内容を4つのブロックに切り分けることと致しました。一つ目は「エコドライブ活動（営業車を中心に燃費に注目）」、二つ目は「アイドリングストップ活動（当社の主業である物流に使う重機作業の効率性に注目）」、三つ目は「節約活動（事務所における電気、水道、ガスの使用状況把握）」、四つ目は、「啓蒙活動（忘れてはいけないひとりひとりができる活動内容を見える化）」となります。今回の取組では、これまでの目標対比ではなく、前年実績対比としたことで、事業の変化や変動をより吸収しやすくし、環境負荷の少ない活動については、無理のない範疇で対応することを目指しました。今年度は、数値管理出来ていない部分や取組の仕組みの修正などを行っており、総括については、次年度より行うことと致しました。

●今後については、現状の取組の仕組みや新たな取組など必要に応じて対応し、この取組が少しでも社会に貢献できるように尽力していきます。

環境推進委員会

株式会社 大 倉

〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区 3 丁目 7 番 4 号

TEL (045) 751-1441 <http://www.ohkura-web.co.jp>

報告対象期間 2020年7月～2021年6月